



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東  
コード番号 6324 URL <https://www.hds.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 丸山 顕  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 塩川 哲也（TEL）03-5471-7810  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月5日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	26,559	△7.7	△637	—	△828	—	△850	—
2024年3月期中間期	28,765	△14.0	872	△81.2	1,163	△76.4	313	△89.3

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,391百万円（△43.6%） 2024年3月期中間期 4,240百万円（△32.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△8.95	—
2024年3月期中間期	3.29	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	118,372	80,917	68.4
2024年3月期	119,142	79,401	66.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 80,917百万円 2024年3月期 79,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	△3.2	△400	—	△500	—	△400	—	△4.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	96,315,400株	2024年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,322,266株	2024年3月期	1,339,057株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	94,981,940株	2024年3月期中間期	95,069,982株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当第2四半期（中間期）決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当第2四半期(中間期)決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
3. その他	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14
(2) 海外売上高	16

## 1. 当第2四半期(中間期)決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)における世界経済は、ウクライナ紛争の長期化、中東情勢の緊迫化、米中対立の常態化など地政学リスクの高まりに加え、各国経済の減速見通しや不安定な為替相場など先行き不透明な状況が継続しました。また、当社グループの事業環境は、適正在庫になったお客様からの受注が徐々に戻り始めたものの、市況の低迷や地政学リスク等の影響が続いており、想定よりも緩やかな回復となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、新規顧客案件により産業用ロボット向けが増加した一方で、半導体製造装置向け、その他一般産業機械向け、車載向けなどの用途が減少しました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比7.7%減少の265億59百万円となりました。

損益面につきましては、全社的コスト革新プロジェクトを立ち上げ、取り組んでまいりましたが、売上高減少による影響を吸収するには至らず、営業損失は6億37百万円(前年同期は営業利益8億72百万円)となりました。また、主に営業利益の減少により、8億50百万円の親会社株主に帰属する中間純損失(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益3億13百万円)となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比1.4%減少の199億6百万円、メカトロニクス製品が同22.4%減少の66億53百万円で、売上高比率はそれぞれ、75.0%、25.0%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (日本)

産業用ロボット向け、半導体製造装置向け製品の受注回復のペースが想定に比して緩やかなものとなったことに加え、車載向け、その他一般産業機械向けの売上高が減少し、前年同期比18.3%減少の97億32百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、減収の影響に加え、子会社からの受取配当金が23億30百万円減少したことにより、前年同期比52.4%減少の24億55百万円となりました。

#### (中国)

産業用ロボット向けの新規顧客案件により、売上高は前年同期比40.2%増加の30億5百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、増収の影響により営業利益は増加した一方で、為替が円安に推移したことで為替差損が増加し、前年同期比57.0%減少の84百万円となりました。

#### (北米)

お客様の生産調整により先進医療用途(手術支援ロボット関連)向けが減少したことに加え、半導体製造装置向け需要の回復遅延により、売上高は前年同期比13.2%減少の57億83百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、減収の影響により、前年同期比68.0%減少の2億77百万円となりました。

#### (欧州)

為替相場が円安に推移した一方で、市況の低迷と在庫調整の影響を受け、売上高は前年同期比0.1%減少の80億37百万円となりました。また、セグメント利益(経常利益)は、ハーモニック・ドライブ・エスイー株式取得時に計上した無形資産に係る償却費4億78百万円の負担により、1億27百万円のセグメント損失(経常損失)(前年同期はセグメント利益1億円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億69百万円減少(前連結会計年度末比0.6%減)し、1,183億72百万円となりました。これは、仕掛品が7億65百万円増加(前連結会計年度末比22.0%増)した一方で、その他流動資産が9億93百万円減少(前連結会計年度末比36.2%減)したこと、顧客関係資産が5億88百万円減少(前連結会計年度末比6.1%減)したことに加え、現金及び預金が5億70百万円減少(前連結会計年度末比2.8%減)したことが主な要因です。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて22億85百万円減少(前連結会計年度末比5.8%減)し、374億55百万円となりました。これは、借入金の約定返済を進めたことにより、長期借入金が12億40百万円減少(前連結会計年度末比8.2%減)したことに加え、その他固定負債が7億62百万円減少(前連結会計年度末比56.6%減)したことが主な要因です。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて15億15百万円増加(前連結会計年度末比1.9%増)し、809億17百万円となりました。これは、期末配当を実施したことにより利益剰余金が17億99百万円減少(前連結会計年度末比4.8%減)した一方で、為替変動の影響により為替換算調整勘定が35億52百万円増加(前連結会計年度末比27.5%増)したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.6%から68.4%になりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて16億86百万円減少し、172億54百万円となりました。

当中間連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による収入は31億61百万円となりました。(前年同期は82億46百万円の収入)

これは、減価償却費を39億36百万円計上した一方で、税金等調整前中間純損失を8億60百万円計上し資金が減少したことが主な要因です。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による支出は35億1百万円となりました。(前年同期は43億79百万円の支出)

これは、有形固定資産の取得による支出が23億10百万円、定期預金の預入による支出が14億86百万円あったことが主な要因です。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による支出は26億円となりました。(前年同期は51億64百万円の支出)

これは、長期借入金の返済による支出が12億81百万円、配当金の支払額が9億49百万円あったことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表しました2025年3月期に係る連結業績予想を修正しております。当該内容につきましては、本日(2024年11月12日)公表の「2025年3月期 第2四半期(中間期)の業績予想値と実績値の差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,318,343	19,748,002
受取手形	3,085,175	3,166,893
売掛金	8,668,982	8,998,910
有価証券	37,156	49,248
商品及び製品	2,466,573	2,525,093
仕掛品	3,481,346	4,246,925
原材料及び貯蔵品	6,681,866	7,029,694
その他	2,743,454	1,750,077
貸倒引当金	△24,906	△35,751
流動資産合計	47,457,994	47,479,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,088,751	19,136,618
機械装置及び運搬具(純額)	16,104,298	15,394,481
工具、器具及び備品(純額)	1,750,358	1,775,991
その他(純額)	11,203,914	11,951,277
有形固定資産合計	48,147,323	48,258,368
無形固定資産		
ソフトウェア	493,049	492,345
顧客関係資産	9,663,394	9,074,857
技術資産	2,580,951	2,423,761
その他	159,997	320,144
無形固定資産合計	12,897,391	12,311,109
投資その他の資産		
投資有価証券	8,780,932	8,435,033
関係会社株式	48,112	34,472
関係会社長期貸付金	200,000	200,000
退職給付に係る資産	1,372,071	1,403,134
繰延税金資産	137,493	152,258
その他	106,571	104,734
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	10,639,581	10,324,033
固定資産合計	71,684,297	70,893,512
資産合計	119,142,291	118,372,605

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,036,539	3,462,359
短期借入金	700,629	702,514
1年内返済予定の長期借入金	2,529,452	2,489,078
リース債務	700,049	742,956
未払法人税等	101,581	143,203
賞与引当金	949,714	917,920
役員賞与引当金	66,165	49,857
製品補償損失引当金	147,759	169,437
その他	3,487,973	2,914,748
流動負債合計	11,719,864	11,592,076
固定負債		
長期借入金	15,201,497	13,960,845
リース債務	4,681,840	4,735,178
繰延税金負債	5,837,148	5,483,271
役員退職慰労引当金	12,000	19,200
その他の引当金	104,749	112,920
退職給付に係る負債	836,377	967,207
その他	1,347,147	584,705
固定負債合計	28,020,761	25,863,328
負債合計	39,740,626	37,455,405
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	22,778,711	22,786,269
利益剰余金	37,478,753	35,678,984
自己株式	△5,309,159	△5,242,585
株主資本合計	62,048,341	60,322,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,256,856	4,004,217
為替換算調整勘定	12,927,929	16,480,151
退職給付に係る調整累計額	168,538	110,125
その他の包括利益累計額合計	17,353,323	20,594,494
純資産合計	79,401,665	80,917,200
負債純資産合計	119,142,291	118,372,605

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	28,765,131	26,559,485
売上原価	20,204,921	19,832,342
売上総利益	8,560,210	6,727,142
販売費及び一般管理費	7,687,544	7,364,715
営業利益又は営業損失(△)	872,666	△637,572
営業外収益		
受取利息	35,774	152,302
受取配当金	132,952	133,533
為替差益	163,515	—
その他	153,610	163,947
営業外収益合計	485,853	449,783
営業外費用		
支払利息	85,334	104,776
持分法による投資損失	24,789	13,640
為替差損	—	450,765
賃貸費用	58,075	46,768
その他	26,570	24,623
営業外費用合計	194,769	640,574
経常利益又は経常損失(△)	1,163,749	△828,363
特別利益		
固定資産売却益	6,660	737
補助金収入	—	2,000
特別利益合計	6,660	2,737
特別損失		
固定資産売却損	422	1,548
固定資産除却損	4,463	31,693
固定資産圧縮損	—	2,000
特別損失合計	4,886	35,241
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	1,165,523	△860,867
法人税、住民税及び事業税	764,601	185,855
法人税等調整額	87,900	△196,718
法人税等合計	852,501	△10,863
中間純利益又は中間純損失(△)	313,022	△850,004
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	313,022	△850,004

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	313,022	△850,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,226,149	△252,638
為替換算調整勘定	5,095,926	3,552,221
退職給付に係る調整額	57,828	△58,413
その他の包括利益合計	3,927,605	3,241,170
中間包括利益	4,240,628	2,391,166
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,240,628	2,391,166
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	1,165,523	△860,867
減価償却費	4,373,289	3,936,592
のれん償却額	573,616	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,847	7,833
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△35,608	27,399
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,200	7,200
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,632	8,170
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△305,313	△21,175
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	44,202	18,185
受取利息	△35,774	△152,302
受取配当金	△132,952	△133,533
支払利息	85,334	104,776
持分法による投資損益(△は益)	24,789	13,640
補助金収入	—	△2,000
固定資産売却損益(△は益)	△6,237	811
固定資産除却損	4,463	31,693
固定資産圧縮損	—	2,000
売上債権の増減額(△は増加)	4,565,064	230,454
棚卸資産の増減額(△は増加)	137,438	△283,813
仕入債務の増減額(△は減少)	△654,932	175,675
その他	319,183	△399,123
小計	10,142,766	2,711,616
利息及び配当金の受取額	168,429	286,557
役員退職慰労金の支払額	—	△725,515
補助金の受取額	—	2,000
利息の支払額	△88,577	△111,077
法人税等の支払額	△2,164,676	△413,877
法人税等の還付額	188,245	1,412,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,246,187	3,161,824
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,810,567	△2,310,214
有形固定資産の売却による収入	14,700	3,806
無形固定資産の取得による支出	△96,198	△211,341
定期預金の預入による支出	△1,291,819	△1,486,016
定期預金の払戻による収入	—	500,000
敷金及び保証金の差入による支出	△3,280	△1,497
敷金及び保証金の回収による収入	7,180	2,567
短期貸付けによる支出	—	△88
短期貸付金の回収による収入	—	14
関係会社貸付けによる支出	△200,000	—
その他	240	805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,379,743	△3,501,964

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,210,094	1,320,000
短期借入金の返済による支出	△3,200,189	△1,320,213
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,308,782	△1,281,026
リース債務の返済による支出	△301,620	△369,582
配当金の支払額	△1,614,289	△949,956
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,164,786	△2,600,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	362,294	1,253,970
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△936,047	△1,686,948
現金及び現金同等物の期首残高	19,921,977	18,941,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,985,929	17,254,763

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	北米	欧州	計		
売上高 顧客との契約 から生じる収 益	15,295,285	2,273,301	6,669,477	8,207,926	32,445,991	△3,680,860	28,765,131
外部顧客へ の売上高	11,912,350	2,143,857	6,661,397	8,047,526	28,765,131	—	28,765,131
セグメント 間の内部売上 高又は振替高	3,382,934	129,444	8,080	160,399	3,680,860	△3,680,860	—
計	15,295,285	2,273,301	6,669,477	8,207,926	32,445,991	△3,680,860	28,765,131
セグメント利 益	5,156,254	196,473	867,839	100,792	6,321,359	△5,157,609	1,163,749

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △5,157,609千円は、セグメント間取引消去△4,009,243千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,148,366千円で構成され、全社費用には、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用とハーモニック・ドライブ・エスイーの株式取得によるのれんの償却額573,616千円が含まれております。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高5,953,049千円が含まれております。
4. 欧州地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるドイツ国の売上高3,096,458千円が含まれております。
5. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	北米	欧州	計		
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	14,222,502	3,006,478	5,790,924	8,134,118	31,154,023	△4,594,537	26,559,485
外部顧客への 売上高	9,732,568	3,005,324	5,783,721	8,037,870	26,559,485	—	26,559,485
セグメント 間の内部売上 高又は振替高	4,489,933	1,154	7,202	96,247	4,594,537	△4,594,537	—
計	14,222,502	3,006,478	5,790,924	8,134,118	31,154,023	△4,594,537	26,559,485
セグメント利 益又は損失 (△)	2,455,669	84,426	277,649	△127,767	2,689,978	△3,518,341	△828,363

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △3,518,341千円は、セグメント間取引消去△2,269,166千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,249,175千円で構成され、全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高4,986,416千円が含まれております。
4. 欧州地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるドイツ国の売上高3,281,677千円が含まれております。
5. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当中間連結会計期間より、従来「日本」に含まれていた「中国」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	12,016,613	△16.6
	メカトロニクス製品	1,456,754	△59.7
中国	減速装置	—	—
	メカトロニクス製品	—	—
北米	減速装置	2,306,519	0.6
	メカトロニクス製品	2,197,360	△30.4
欧州	減速装置	5,447,087	18.0
	メカトロニクス製品	2,854,996	24.4
合 計		26,279,331	△13.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、中国、北米、欧州)に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ハーモニックウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## ② 受注実績

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
日本	減速装置	9,494,938	21.8	4,105,890	15.1
	メカトロニクス製品	1,357,467	70.9	1,000,879	△4.0
中国	減速装置	2,990,545	216.3	1,318,552	111.8
	メカトロニクス製品	56,817	△46.8	24,313	△81.3
北米	減速装置	2,938,120	29.2	4,316,134	△8.9
	メカトロニクス製品	2,101,554	7.4	3,177,855	△45.3
欧州	減速装置	4,251,961	△20.5	5,442,205	△27.0
	メカトロニクス製品	2,634,584	7.6	2,797,636	△6.6
合 計		25,825,990	19.2	22,183,466	△15.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、中国、北米、欧州)に区分しております。  
4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ハーモニックウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。  
6. 受注残高は、当中間連結会計期間において発生した310,092千円の受注取り消し額等を差し引いております。

## ③ 販売実績

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	8,572,565	△15.9
	メカトロニクス製品	1,160,003	△32.6
中国	減速装置	2,916,516	53.0
	メカトロニクス製品	88,807	△62.7
北米	減速装置	3,098,409	12.2
	メカトロニクス製品	2,685,312	△31.1
欧州	減速装置	5,318,867	△0.3
	メカトロニクス製品	2,719,003	0.2
合 計		26,559,485	△7.7

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
日産自動車株式会社	3,235,660	11.2	2,959,989	11.1

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、中国、北米、欧州)に区分しております。

5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。

6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ハーモニックウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## (2) 海外売上高

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	中国	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	8,037,870	5,783,721	3,005,324	850,810	17,677,727
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	30.3	21.8	11.3	3.2	66.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……ドイツ

(2) 北米……米国

(3) 中国……中国

(4) その他の地域……韓国、台湾、オセアニア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。